

CMSC“平成元年”のスタート全国大会開催される。

ことしのCMSC全国大会は、2月25・26日の両日、静岡県御殿場市にある御殿場ステーションホテルで行われた。昨年の総決算と、ことしの活動のスタートを兼ねた大事な行事だけに、全国13支部の代表および'88チャレンジカップ上位入賞者、合計70名が参加した。

まず、外川一雄・CMSC会長からあいさつがあり、昨年の活発な支部活動と会員の努力に対してねぎらいの言葉が述べられ、続いてラリーアート・有賀寿秋社長から三菱側からCMSCにお礼の言葉が送られた。その後、各支部代表による'88年度活動実績報告および'89年度計画発表、チャレンジカップ表彰などが行われた。

とくに、支部ごとの活動計画案は地域ごとの特徴が表れており、前向きな姿勢が伝わってくる。良きコミュニケーション、心と心のつながり、そして技術的なレベルアップ。積極的なモータースポーツ参加計画も目立ち、メンバーの意気込みが感じられる計画案が示された。ことしの活動が、早くも楽しみだ。

翌26日は、富士スピードウェイのBパドックにコースを作って、ジムカーナ形式の試乗会。ジムカーナ仕様のミラージュとランサーで、全員がタイムを競い合った。優勝のかからないエキジビションとはいうものの、すっかり熱の入った試乗会となり、参加者は実戦ながらのステアリングさばき。ニューモデルのポテンシャルを存分に味わったようだ。冷たい風が吹くFISCOにも、一足早いシーズン到来といったムードが漂った。

ラリーアート、今年のCMSC支援内容決定

ラリーアートによることしのCMSC支援活動が発表された。内容は、チャレンジカップ（クラブ、個人別対抗）の実施、三菱車用スポーツパーツ廉価分譲、全日本選手権出場援助、主催イベント援助など、昨年と同様。新型車へのラリーアート・カラーリング援助、好成績ドライバーへのウェア援助なども行われる。

支部主催イベントは全11戦 今年の活動計画決まる

CMSC主催イベントのスケジュールが決定。すでに行われた青森のウインターラリー、香川のトライアルをはじめ、ことしは11戦の開催が予定されている。また、各クラブではB級ライセンス講習会、ダートラ練習会などを積極的に計画している。CMSC会員の活躍が楽しみだ。



▲あいさつする外川会長



▲総会後の懇親会



▲次々とトライする参加メンバー



▲午後にはすっかり晴れたFISCO

月	日	主催	イベント名
1	14、15 21	青森 帯広	CMSCウインターラリーイン青森(JAF地方ラリー選手権B、C地区第1戦) 第7回CMSC帯広コルト氷上トライアル
2	19	香川	'89CMSCアストロトライアルI
4	16	山形	'89CMSC山形ダートトライアル(県シリーズ第1戦)
5	7	群馬	'89CMSCトライアル群馬(県シリーズ第4戦)
6	11		'89スリーダイヤモンドトライアル(県シリーズ)
8	19、20 20 未定	香川 帯広 島根	'89CMSCダイヤスターラリー CMSC帯広コルトダートトライアル(北海道ジュニアチャンピオンシリーズ) '89CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第8戦)
10	8 20	香川 帯広	'89CMSCアストロトライアルII CMSC帯広ダートトライアル

'88CMSCチャレンジカップ、栄冠は再び山形に。

'88年度のCMSCチャレンジカップ・クラブ別ポイント、山形が2位以下に大差をつけて連続優勝を達成した。また、ラリー・ドライバー部門は館山正嗣(青森)、ラリー・ナビゲーター部門は佐藤忠宜(福島)、スラローム部門は荒井信之(群馬)、レース部門は小川日出生(山形)がそれぞれ優勝した。昨年も12月は各クラブとも得点がなく、序盤戦から高得点をマークした山形が有利な展開で栄冠を手にした。一方、クラブ別では2位の群馬、3位の福島、そして4位の帯広、5位の青森が大接戦だった。ことしは岐阜、香川なども上位入賞をねらう構えを見せており、クラブメンバーのイベント参加も増えそう。



▲小川会長からカップを受け取るCMSC山形の小川さん。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	71	212	160	0	443
札幌	129	254	10	0	393
青森	104	250	82	0	436
山形	267	482	233	0	982
仙台	20	80	30	0	130
福島	181	223	103	0	507
栃木	54	43	106	0	203
群馬	196	153	236	0	585
埼玉	11	26	67	0	99
岐阜	26	22	16	0	64
島根	77	108	140	0	325
香川	96	96	40	0	136

●ラリー・ドライバー部門



館山 正嗣	青森	139
塩野谷浩光	群馬	124
吉川 幸彦	札幌	116
千田 俊二	札幌	104
大西 康弘	青森	92
奥山 高志	仙台	88
長沢 太郎	埼玉	77
福士 文秀	青森	54
菅野 茂	福島	40
金田一直志	青森	36

●ラリー・ナビゲーター部門



佐藤 忠宜	福島	186
永沢 裕之	青森	113
葛西 一省	青森	60
内田 昭雄	群馬	46
若林 和昭	群馬	24
益子 友幸	栃木	23
巻口 実	札幌	20
青木 功	栃木	19
三田 行男	埼玉	16
本田 弘	岐阜	12
本田 辰彦	岐阜	12

●スラローム部門



荒井 信之	群馬	329
青沼 達也	帯広	246
砂塚 明男	山形	218
杉山 敏夫	山形	187
金田 至	山形	180
鈴木 功敏	福島	150
佐藤 信一	福島	144
杉坂 啓一	島根	134
白井 修	香川	114
小肩 秀紀	札幌	104

●レース部門



小川日出生	山形	148
清水 潤	埼玉	16
並木 松雄	栃木	15
稲見 孝雄	栃木	15
相沢 いく	埼玉	12
川口 法行	栃木	8
今野 広志	仙台	8
新井 一男	群馬	4
佐藤 政一	仙台	4

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

←リタイアには予選通過も含む

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム………全日本スピード行事選手権、地区スピード行事選手権、JMSシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラーズカップ
B = それ以外の競技会

盛況のウィンターラリー、CMSCメンバーも大健闘

ウィンターラリーin青森 '88JAF地方選手権BC地区第1戦 CMSCウィンターラリーin青森

'89JAF地方選手権B・C地区第1戦、CMSCウィンターラリーIN青森が、東北ラリー・シリーズのトップを切って1月14~15日に開催された。コースは岩木山周辺の200kmで、59台が出走した。ことしからJAF地方ラリー選手権はB・C地区合同で開催されることになり、B地区から38台、C地区から22台のエントリーがあった。三菱車はBクラス15台中6台、Cクラス26台中17台。とくにギャランは12台という盛況ぶり。ミラーズも含めて上位入賞に期待がかった。

CMSCからはベテラン菅野茂選手(福島)をはじめ大西晃選手(青森)などがギャランVR-4で、梶沢宏之選手(青森)がコルディア、佐藤政一選手(仙台)、波辺俊昭選手(山形)がミラーズで、それぞれエントリーした。

序盤からCクラスはギャラン対ギャランの戦いとなった。第1ステージのSSでは菅野ギャランがまずまずの走りを見せ、梶沢コルディアも劣らぬ走りですぐこれを追う。第2ステージに入ってやや遅れが出たものの、Cクラス5位を確保した。



▲総合5位に入った菅野茂選手(CMSC福島)のギャランVR-4



▲梶沢選手のコルディア



▲左から3人目が菅野選手。4人目が梶沢選手